



2020年9月24日
カトリックさいたま教区 司教
マリオ 山野内 倫昭

Mario Yamano

新型コロナウイルスの感染拡大に対する 教区の対応について (第12次)

主日のミサの段階的な再開の開始から早3か月を経過しました。皆様のご理解とご協力のおかげで、無事、今日を迎えております。新型コロナウイルス感染拡大はまだまだ終息とは言えませんが、一定の落ち着きを見せているため、思い切って、教会活動の制限の緩和へさらに一歩踏み出すことにいたします。すなわち、最も解除の決断に慎重を要した制限、すなわち、「年齢制限」の解除をいたします。そして、これまで、自宅待機の犠牲を快く払ってくださっていただいた65歳以上の信徒の皆様には特に心からの感謝を申し上げます。なお、それ以外の制限についてはこれまで通りです。皆様の一層のご協力により、11月には制限解除をさらに一歩進められることを祈念しています。

10月第1主日 (10月4日) から、年齢制限を解除します。

「年齢制限の解除」以外の制限はこれまでと変わりません。

念のために、主な事項を下記に記しますので、小教区の事情を加味しながら、

感染拡大が起こらないようくれぐれも注意をお願いいたします。

1・高齢の方、並びに持病(重い基礎疾患)のある方、発熱のある方、健康に不安を抱かれる方は、どうか無理なさらず、引き続き、「いのちを守ること」を優先し、ご自宅にとどまって、お祈りくださるようお願いいたします。なお、教会での年齢制限は行いません。

2・引き続き、主日のミサに与る義務を免除します。

3・主日のミサ1回(日本語ミサ、あるいは国際ミサ)と土曜日の前晩のミサの公開を許可いたします。信徒数の多い教会においては、前晩のミサの参加を勧められるのもよいかもしれません。年齢制限の解除により、ほとんどの教会でミサへの参加者数の増加が予想されますが、感染拡大の予防を充分になさってください。

4・ミサのある教会を求めて移動することはできません。

5・平日のミサの非公開はまだしばらく継続します。

6・緊急の場合の洗礼や病者の塗油、ゆるしの秘跡等は十分に注意事項を守った上でなさってください。司教による堅信式は当分行いませんが、緊急に必要な方は、司祭が司教への許可を得て行うことができます。まずは主任司祭に相談なさってください。

特に厳守していただく項目に関して、下記に記しますので

引き続きよろしくお願ひします。

- 1) 大原則は「3つの密を避けること」です。また互いの間隔を十分に確保すること、マスクの着用、手洗いや消毒を行うこと。ミサだけでなく、すべての教会活動の際、この原則に立ってお考えください。
- 2) 聖堂内では、互いの距離を1.5メートル以上に保てるよう、工夫してください。3密（密閉、密集、密接）を避ける工夫が不可能な場合は聖堂を典礼に使うことはできません。聖堂より広いホールが利用できる場合、主日ミサのためにホールを使うことはできます。
- 3) 手指の消毒、マスクの着用(司祭、朗読者も)、十分な対人距離、換気などの感染症対策は十分に行ってください。可能な限り、たくさんの方が触れるドアノブ等の消毒にも努めてください。
- 4) 聖堂入口の聖水盤は引き続き使用しないでください。
- 5) しばらくの間、ミサや集会などで、聖歌を歌うことは控えてください。オルガン演奏や距離をあけての独唱などは構いません。
- 6) ミサの奉納はしばらくの間は行わないでください。
- 7) 献金袋は回さず、入口などに献金箱を設置してください。
- 8) 平和の挨拶では、握手や抱擁をなさらないでください。
- 9) 教会入り口に「来場者カード」を用意し、氏名、住所、電話番号、体温の記入をお願いしてください。万が一、感染者が出た場合に、感染経路の追跡が必要になったとき、保健所等に報告するときのみ使用されるものです。個人情報ですので、管理を徹底し、一定期間、教会に保管してください。
- 10) 入退堂時、ミサ後なども密にならないようにしてください。
- 11) ミサ以外の会議や集会などは、もうしばらくはできるだけ避けるか、少人数で(10名以下)、感染防止対策をした上で、時間を短くして行ってください。洗礼希望者のための新規の勉強会や聖書の勉強会などは上記の「大原則」の注意事項が守れる場合以外はまだ始めないでください。